

小樽・田中酒造と北海道ワイン 経産省の「地域未来牽引企業」に

小樽市の田中酒造と北海道ワインの2社が経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定された。田中酒造の田中一良社長と北海道ワインの畠村公宏社長らが12日、市役所を訪れ、迫俊哉市長に報告と新商品の説明を行った＝写真＝。

地域未来牽引企業は地域経済の先導役が期待される全国の事業者で、2017年度に選定を開始。17年度は小樽市の包装資材製造販売業「極東高分子」が選ばれた。田中酒造と北海道ワインは、古平町の土木建築業「福津組」とともに18年度に追加選定された。

田中酒造は「地産地消の推進と農業振興」「発泡性の日本酒・果実リキュールの開発」、北海道ワインは「ワイン製造残渣を活用した機能性商材の開発」「高品質・高価格帯ワインの製造」を盛り込んだ事業計画



を申請。昨年12月に追加選定が決まり、今年3月に認定証が届いた。

田中社長と畠村社長は「事業を通して小樽の地域活性化につなげたい」と声をそろえた。事業計画に沿って開発した新商品も紹介。田中酒造は発泡性の梅酒「おたる梅酒スパークリング」の製法や特徴を、北海道ワインはフランス・シャンパーニュ地方と同じ本格製法の「瓶内二次発酵」で製造したスパークリングワイン「トラディショナル メソッド 北海道」を説明した。(渡辺佐保子)

※田中一良社長及び畠村公宏社長は本学のOBです。